

アセットリノベーション投資事業有限責任組合の設立
および第1号案件への投資決定について

当機構は、株式会社 OHANAPANA、株式会社常陽銀行とアセットリノベーション投資事業有限責任組合（以下、本ファンドという。）を設立しました。

本ファンドは、国土交通省のまちづくりファンド支援業務（老朽ストック活用リノベーション等推進型）に基づくものです。同業務は、コロナ危機を契機とした新しい働き方・住まい方に対応したテレワーク拠点等を整備し、職住が近接・一体となった柔軟な働き方等に対応したまちづくりの推進を目的としています。

本ファンドでは、全国的に増加し、その有効活用が求められる老朽ストックのリノベーション等を通じた、多様な働き方を支えるテレワーク拠点等や都市にゆとりをもたらすグリーン・オープンスペース等の整備を支援して参ります。

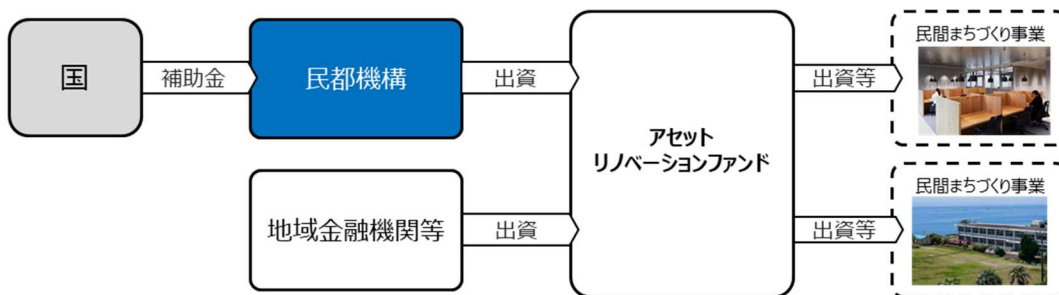
なお、本ファンド組成以降、ファンド運営事業者である(株)OHANAPANA が新たに本ファンドに加入する金融機関等の有限責任組合員を募集し、投資を進めて参ります。

1. アセットリノベーションファンドについて

(1) ファンド概要

ファンド名	アセットリノベーション投資事業有限責任組合
設立時期	2021年12月16日
無限責任組合員（GP）	株式会社 OHANAPANA (NEC キャピタルソリューション(株)100%出資)
有限責任組合員（LP）	株式会社常陽銀行 一般財団法人民間都市開発推進機構
投資対象	老朽ストック（築20年以上）を活用し、テレワーク拠点等やグリーン・オープンスペース等の整備を含む事業
投資形態	出資(優先株式・匿名組合出資)・社債(普通社債・劣後社債)・特定社債
投資期間	約4年（2025年12月末まで）
存続期間	約14年（2035年12月末まで）

(2) ファンドのスキーム図



2. 第1号案件への投資決定について

本ファンド組成にあわせて、つくばまちなかデザイン株式会社への投資が決定されました。同社は、2021年4月1日につくば市と地元企業が共同出資して設立したまちづくり会社で、つくば研究学園都市の中核施設として1983年に建設された「つくばセンタービル」の1階部分をシェアオフィス、コワーキングスペース等としてリニューアルし運営していく予定です。

■投資先概要

商号	つくばまちなかデザイン株式会社
所在地	茨城県つくば市吾妻一丁目10-1 (つくばセンタービル1階)
代表	内山 博文
事業内容	つくばのまちに新たな価値を創造するため、人と人、コトとコトをつなげることで、暮らしや学び、働く人を支援する場づくり、地域の取組の支援等を実施する。
投資対象事業の建物	つくばセンタービル

■つくばセンタービルの外観



■コワーキングスペースのイメージ



本件に関するお問い合わせ先
 一般財団法人 民間都市開発推進機構
 まちづくり支援部 TEL:03-5546-0797